

匝瑳市消防団中央分団役員会議

平成26年8月27日（水）
午後7時55分集合～2部管轄（下出羽会館）
分団長 那智博行
副分団長 小泉泰孝
副分団長 戸村哲也

1 開 会

2 分団長 挨拶

3 議 事

- (1) 消防定例表彰について
- (2) 匝瑳市総合防災訓練参加について
- (3) 消防施設要望調査について
- (4) 実戦操法訓練について
- (5) その他
 - 9月の合同手入れについて
 - 普通Ⅰ救命講習の実施について
 - 今後の消防関係行事 開催日程のおしらせ
 - 次回の部長・班長会議の開催について

4 閉 会

(議題1) 消防定例表彰について

内定

1	千葉県消防協会長表彰 功労章	副分団長	戸村 哲也
2	// 精勤賞	中央2部 部長	椿 達也
3	//	中央5部 部長	磯部 進一
4	防災危機管理部長表章	中央5部 団員	布施 光浩
5	匝瑳市消防団長表章 (千葉県大会出場部表彰)	中央6部	団体
6	匝瑳市長特別表彰 功績章	中央6部 団員	伊藤 誠一

各部推薦

1名	千葉県消防協会 海匝支部長表彰 功労章		
4名	千葉県消防協会 海匝支部長表彰 精勤章		
	//		
	//		
1名	匝瑳市長表彰 功労章		
2名	匝瑳市消防団長表彰 功労章		
	//		

26年度退団予定者	
1	
2	
3	

消防定例表彰 選出基準について

■千葉県消防協会海匝支部長表彰■

功労賞 永年にわたり勤務に精励し、技能熟達かつ平素よく率先垂範して消防の使命達成に尽力し、その功績は顕著である者。ただし、勤続年数は原則として5年以上とする。

精勤賞 消防の使命達成に尽力し、成績優秀な者で、勤続年数は5年以上とする。

■匝瑳市長表彰■

功労賞 4年以上勤続（H27年3月31日現在）し、及びその任務遂行にあたって、その功労が抜群である者。

■匝瑳市消防団長表彰■

功労賞 2年以上勤続（H27年3月31日現在）し、及び消防団員として成績優秀な者。

各表彰候補には「自薦他薦」は問いません。分団役員「お任せ」でも構いません。

また、26年度で退団予定の団員も合わせて、ご連絡下さい。届出×切 9月15日(月)メール可

(議題2) 匝瑳市総合防災訓練(自主防災組織育成型訓練)について

日時 平成26年9月28日(日) 午前7時00分～ <雨天中止※午前6時に防災無線で周知>

場所 各小学校・八日市場第二中学校・飯高小跡地・及び野栄生涯学習センター

概要 自主防災組織育成型の防災訓練を実施

中央分団としては、昨年同様に「震災直後の消防団員としての初動とは？」を各部(各自)で考え、訓練に参加して頂きたい。

また、今後の消防団員に求められる「災害現場での人命救助」の訓練も行います。

訓練内容(予定)

- 07:00 市の行政防災無線による「地震の発生」の通達 (中央分団災害本部開局 アナログ無線)
05～ 家族の安全を確保し消防団員としての任務開始 団庫に近い団員のみ集合し→巡回→広報。
10～ 中央分団アナログ無線にて、状況(団員人数・被害状況・活動状況)などを本部へ報告。
消防車両による町内巡回・広報活動(※4) (各部との無線通話チェックも行って下さい。)
35 防災訓練会場(避難所)付近へ集合。(八日市場小2・4・5部・第二中1・3・6部)
07:45 匝瑳市防災無線により「火災の発生」の通達
45 各部長指示の元、お互いに連携し中継体制を作り消火活動を始める。

通報: 避難住民から自主防災会長(※1)へ「倒壊家屋に逃げ遅れた住民有り」の通報

避難住民→自主防災会長(※1)→地区支部長(※2)→災害対策本部(※3)→団本部→中央分団→部(担当部)

07:55 鎮火報告・撤収報告および救出完了報告

火点直近部・救助担当部→中央分団本部→団本部→災害本部

※本来は本署や団本部役員の判断により鎮火等の判断を出しますが、大震災ではその場対応となるため

(※1) 自主防災会長=区長 (※2) 地区支部長=市役所職員 (※3) 災害対策本部=市役所(第二議会棟)

(※4) 各地区専用の広報文(ロボット音声)は中央分団ホームページよりダウンロード可能

■救助訓練担当部 八日市場小 中央2部 第二中学校 中央1部

■無線機について (中央分団本部はアナログ無線機を使用・消防団本部はデジタルトランシーバー使用)
中央分団本部においては、アナログ無線機の保有率が多いため、通常通りアナログ無線機を使用します。
各部からの情報は分団役員が総括し、消防団本部または災害対策本部へ、デジタルトランシーバーにて報告します。※尚、部長は、デジタルトランシーバーも保持して下さい。通話はCH2の中央分団内だけにして下さい。CH2は固有名詞通話でも構いません。

■救助方法及び救助機具使用方法の講習 本署にて事前指導(中央部・部対象・希望部も可能)

- ・講習場所と日時 匝瑳署にて午前中(9時～)約1時間程度(講習日の予約は事前に)
- ・参加人数 4名以上(最低)
- ・持参品 救命担架・折畳みリヤカー・その他
- ・アポロキャップ・活動服・黒長

■避難所(訓練会場)付近を、一時的に通行止めにして下さい。(警察には連絡済み)

- ・八日市場小(西側福善寺 部団員)(南側リリー美容室 部団員)(東側鈴木印刷 部団員)
- ・第二中学校(旧体育館前 部団員)(西側若潮町ゴミステーション 部団員)

※尚、小中学校付近の一時通行止めに伴い、迂回路の案内もお願いします。

(議題3) 消防施設要望調査について
 消防施設の修理・改善・撤去の依頼

	場 所	要 望 理 由	概算 経費
防火水槽有蓋化			
不用消防施設撤去			
ホース乾燥塔新設			
高額な修繕 10万円以上の修繕			

※ ホース乾燥塔の劣化に注意 (滑車・ひもの劣化)

※ 9月の自主手入れにて、管轄地区の確認をお願い致します。届出〆切 9月15日(月)メール可

(議題4) 実戦操法訓練の実施について

- 【1.日 時】 平成 26 年 11 月 2 日 (日) 午前 8 時 00 分集合<雨天決行>
 午前 8 時 30 分開始
- 【2.会 場】 匝瑳市役所北側駐車場
- 【3.出場部隊】 匝瑳市消防団前 41 部隊
 ポンプ車部隊 10 隊 水槽付積載車部隊 12 隊 積載車部隊 19 隊
- 【4.活動規範】

安全確認呼唱及び換呼応答

- 乗車時のドア開放及び閉鎖にあたり、前後の安全確認と呼唱を励行する。
- 乗車した各隊員の確認呼唱「よし」を励行する。
- 下車時のドア開放及び閉鎖にあたっては前後の安全確認と呼唱を励行する。
- その他各種動作について、共同動作は相互に「よし」「よし」の換呼応答を行い、個人動作にあつては「吸口よし」「放口よし」「圧力2キロよし」「結合よし」の如く安全確認呼称を励行する。

行動の基本的事項

- 安全を確保するとともに迅速かつ確実に行う。
- 行動動作は駆け足とし、動作、操作の区切りは節度よく行う。
- 使用機材の機具愛護に務め、その用途に適した利用を図る。
- 指揮者及び隊員は相互に緊密な連携を保ち、一体性のある行動動作を行う。
 (本訓練では無線機は使用しないものとし、遠距離の情報伝達も全て隊員の伝令で行う。)
- 各行動の姿勢は自然なかたちとし、合理性かつ安全性のあることを念頭に置いた実践的な要領でよい。
- 操作の誤りは手違いについては、気が付き次第直ちに修正すること。
 内容によっては事故を誘発するので十分注意すること。
- 消防において常用される手信号は必ず使用する事。但し夜間想定上、視認距離は 5m以内とする。

操作開始からの標的倒状までの所要時間

ポンプ車	の部	65秒	署員の「操作開始～標的倒し」(放水開始までの概ね60秒/同時2線放水)
水槽付積載車	の部	65秒	// (放水開始までの概ね60秒/同時2線放水)
積載車	の部	50秒	// (放水開始までの概ね45秒)

隊員及び車両の装備

- 隊員は指揮者以下総員5名 原則として防火ヘルメット・アルミクス・銀長・手袋を着用すること。
 防火ヘルメットのホックは指揮者以外の隊員は留めること。機関員は白ヘルメット・長靴・手袋で行う。
- 装備品は平常時の装備とする。車両及びポンプ、必要資機材の積載状況は確認しておくこと。

操法の細目事項

- ・指揮者は操法準備完了後「〇〇分団第〇部 実戦操法準備完了しました。」と分団長に報告する。
- ・水利部署はポンプ車及び水槽付積載車は水利の左側、積載車の A・C コースは右側、B・D は左側
- ・ポンプ車及び水槽付積載車にあっては左右いずれの吸管を使用する。藤カゴが付いていること。
- ・控え綱は水槽の枠に結着し、吸管枕木は必ず使用すること。
- ・ホースは 65mm を指定本数使用し、折り畳み・二重巻・背負い器のいずれでもよいが、平常時に実際に装備されている要領であること。なお使用放口も自由とする。
- ・筒先は 65mm 噴霧ノズル付を使用する。尚、筒先の結合は原則第 2 結合部以降で行う。
- ・伝令の伝達事項は「放水始め」「放水止め」及びその他必要事項とする。
- ・ポンプの圧力は常に 4 キロ (0.4 メガパスカル) 以下とする。
- ・それぞれの標的を倒状させた後、係員の「放水停止」の合図により、指揮者は「放水止め」を指示
伝令員は水利部署へ伝令を開始する。放水員はノズル操作により水損防止を図る。
- ・指揮者の「収め」により出場部団員はホースの連結を離脱することなく中央部分を持ち上げて火点側・水利側のコース外へ排水、排水後のホースは絶対に引きずらずに持ち帰ること。
- ・すべて収納後、指揮者は「〇〇分団第〇部 実戦操法終了しました。」と分団長に終了報告する。

効果測定

- ・所要タイムを評価点とし、危険性の高い操作行動（衝突・転倒・負傷・高圧放水・機具破損）や不確実な操作行動（落水・放水開始後のエンスト・3 回以上のエンジン始動等）1 件に着き 3 点を加点、敏し
ょう性、士気、安全性の総合審査を各 6 段階評価に分けて加点し総合評価する。
- 総合評価点 (点) = 所要タイム (秒) + {不適正操作行動件数 × 3 (点)} + 総合審査点
尚、操作行動及び総合審査の評価はタイム計測中とする。
- ・総合評価点の少ない部隊を優秀とし、3 分以上のエンジン始動不能又は吸水不能、機具の故障や隊員の
負傷による訓練続行不可能の場合及び見込み送水は失格とする。

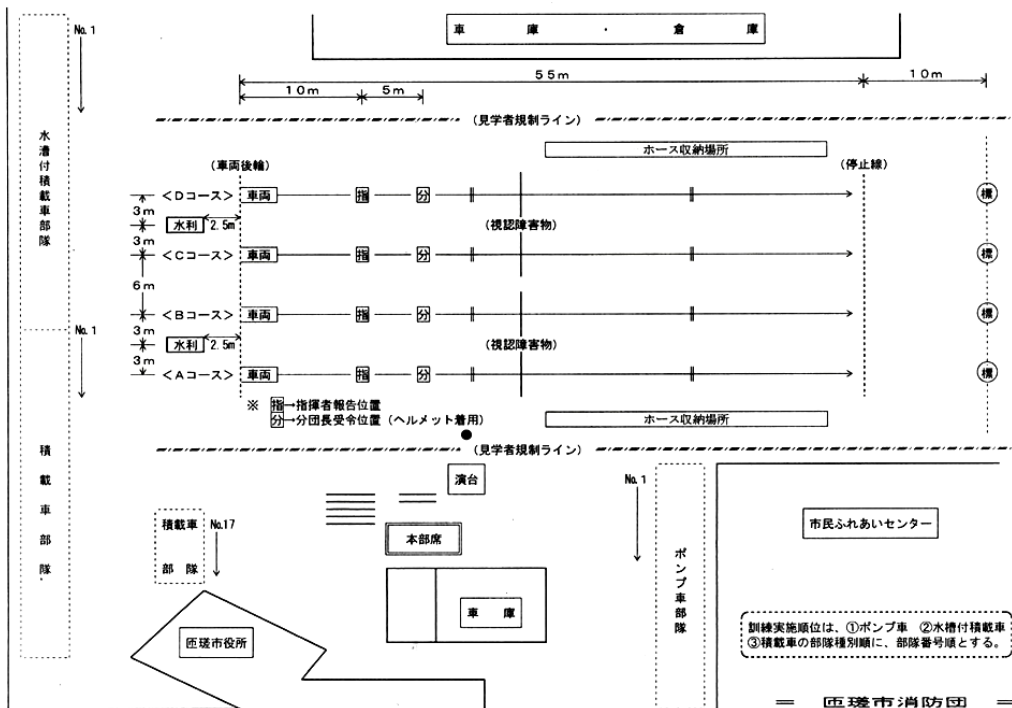
【5.運営補助 水利・排水担当団員】

A・B コース 中央 3 部 C・D コース 中央分団 小泉副分団長

【6.出場順位】 （幹部役員会議の抽選）

ポンプ車	1 部	1 番目	2 部	5 番目	3 部	10 番目	4 部	2 番目	6 部	8 番目
積載車	5 部	14 番目								

【7.実戦操法訓練会場図】



(議題5) その他について

■9月の自主手入れと合同手入れについて

15日までの自主手入れにて、防火水槽およびホース乾燥塔の滑車・ひもの劣化をチェックして下さい。
合同手入れにつきましては9月28日(日)の総合防災訓練を手入れとします。

■普通Ⅰ救命講習の実施について (10~11月頃に予定)

対象 部長・班長・新入団員+希望者

内容 主として成人の心肺蘇生法と簡易応急手当の講習

受講後には「普通Ⅰ救命講習修了証」が発行されます。

■今後の消防関係いろいろな行事 開催日程

11月8日(土) 第24回全国消防操法大会(会場 東京臨海広域防災公園 9時~・八街市消防団8番目)

11月16日(日) 津波避難訓練(野栄総合市所・生涯学習センター・共興小・野栄中学校・栄小学校)

12月28日(日) 歳末特別警戒(28日 5・6部)・(29日 1・2部)・(30日 3・4部)

■次回の「部長・班長会議」は12月3日(水) 20時~(1部_____)にて行います。